

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	太田市	代表者名	太田市長 清水 聖義
担当者部署	企画部情報管理課	連絡先電話番号	0276-47-1813
担当者役職	係長代理	担当者氏名	小林 誠司
住所	373-8718 群馬県太田市浜町2番35号		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	<ul style="list-style-type: none"> 導入の背景や事例について熟知している。 具体的な事例により現状や今後の展望など、説明内容が充実している。 講演後に一括質問を受け付ける方式ではなく、Slidoを使用して随時質問を受け付け、回答いただく方式を取っていただき、ITツールの活用を講演を受けながら体験することができた。
アドバイザーへの要望事項	なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月26日	11時00分	16時00分	120	180
3-2. 派遣場所	会場名	太田市役所		最寄駅	東武鉄道 太田駅
	所在地	群馬県太田市浜町2番35号		最寄駅からの交通手段	徒歩（10分程度）
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	44 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	
	データに基にした課題解決に対して職員の認識不足。	
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	
	実例等を学ぶことによって職員に意識を植え付ける。	
	アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	
	以下について講義を受けました。 <ul style="list-style-type: none"> DXについて データを活用した課題解決方法 他自治体の活用事例 	
	支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	
	データ活用を学ぶ前にDXについても丁寧に説明いただき、今、自治体職員にはデータ活用を含め、業務効率化などの変化が求められていることを参加者に認識させることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	参加者アンケートから「システムを見直す必要性を感じた」、「DXは自分から動こうとする意識改革が必要と感じた」といった感想が得られた。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 役に立った(3.9) 理解できた(3.6) 講師の教え方(3.8) ※5段階評価の平均点	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	参加者が各職場での研修を実施し水平展開することでデータ活用による業務の見直しの必要性を全庁的に意識してもらおう。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

